

南禅寺の南側 蹴上から三条大橋へ東西に延びる坂道 三条通

旧東海道の京口 三条通りに沿って広がる家並み 栗田口

東山越の山裾 謡曲「小鍛冶」に謡われるの鍛冶伝承地

今に残る古い鍛冶伝承の痕跡を探して

京都七口の一つ 三条通 栗田口walk 2019.10.9.

稲荷明神の化身を相槌に栗田口の刀匠 三条宗近が 名刀「子狐丸」を打つ

謡曲「小鍛冶」に謡われた鍛冶伝承

伝承の地「栗田口」の家並の中に古代の鍛冶伝承の痕跡を訪ねる街歩き

栗田口は何度も通ったことのある地で、謡曲「小鍛冶」に謡われる古代鍛冶屋敷町との鍛冶伝承の地であることはよく知っていましたが、鍛冶伝承地をキーワードに栗田口の街並みの中を歩くのは初めて。

たまたま見たTVの栗田口のルポ番組で、謡曲「小鍛冶」の伝承が紹介され、今も鍛冶神社・合槌神社が街に存在。そして栗田口の街の中心 栗田神社は祇園八坂神社と同じ出雲の鍛冶開拓神 素盞鳴尊、大己貴命を御祭神とし、祇園祭の鉾巡行の先頭を行く長刀鉾が掲げる剣が「小鍛冶」伝承の主 刀匠三条宗近が奉納した剣であるとの伝承など鍛冶町としての伝承が 今もこの街で生きていと知りました。

また、この地が旧東海道東山越の京口の鍛冶町であるばかりでなく、この東山から稲荷山に延びる山並みの北部一帯は古代の鉄資源帯であり、栗田口を東に越えた山科にも同じ謡曲「小鍛冶」の伝承があり、そして当地に住む刀鍛冶たちが鞆を作る土としてこの稲荷山・東山の赤土を通じて、稲荷神を信仰していたことも垣間見える。

ばらばらに知っていたこの東山周辺の鍛冶伝承の知識が なにか一つに繋がっていると感じ始め、ゆっくり栗田口の街を歩いてみたいと。

そして、鍛冶町だったこの栗田口の血が今も連綿と受け継がれていると感じた街歩きになりました

粟田口は東山を越えて京都へ入る坂道 旧東海道
三条通の東側蹴上から西の神宮道までの界限
かつてこの界限には数多くの鍛冶職・刀鍛冶が住
まいし、彼らが信仰する稲荷信仰とが融合した
鍛冶伝承が生まれたという。



＜＜まとめ＞＞

南禅寺の南側 蹴上から三条大橋へ東西に延びる坂道 三条通
旧東海道の京口 三条通りに沿って広がる家並み 栗田口
東山越の山裾 謡曲「小鍛冶」に謡われるの鍛冶伝承地
今に残る古い鍛冶伝承の痕跡を探して
京都七口の一つ 三条通 栗田口walk 2019.10.9.

- ◎鹿ヶ谷 泉屋博古館の特別展見学とゆったりと時が流れる東山遠望
- ◎若王子山上にある同志社創立者新島襄の墓所から南禅寺へ下る
- ◎謡曲「小鍛冶」に謡われる鍛冶伝承地 京都七口の一つ栗田口

京都東山の鹿ヶ谷にある泉屋博古館に出かけるのを機会に以前から気になっていた京都東山
山麓 鹿ヶ谷泉屋博古館を起点に若王子山を登り、静寂の中で眠る新島襄の墓にお参り。

山中 幻想的な雰囲気漂う駒ヶ滝の行場から南禅寺へ。

そして、今日一番の目的 謡曲「小鍛冶」に謡われた鍛冶伝承の地 東山越京口の栗田口を
訪ねる古代の鍛冶伝承地の痕跡walk

快晴に恵まれ、久しぶりの初秋京都のぶらぶら歩きを楽しめました。

良く知る東山界隈ですが、知っているようで知らなかった界隈

また一つ新しい道と発見 うれしい初秋京都東山山麓歩きが出来ました。

久しぶりに訪れた博古館と好きな十二神将に出会えるなど久しぶりの仏像観賞

そして、知っているようで知らなかった東山の山裾 若王子山

念願の新島襄の墓参り、幻想的な駒ヶ滝の行場 そして、山道のあちこちで見かけた

鉄含有の赤い土。古代の鉄資源の山の痕跡 稻荷明神・鍛冶伝承のルーツかも

初めて鍛冶伝承の地としてその痕跡を楽しみに歩いた「栗田口」

具体的な痕跡は見られませんが、鍛冶町の名前そして現代的になってはいるが、

鍛冶神社・合槌神社が存在。何よりも古代からの多くの人が行行き来し、

繁栄した旧東海道の雰囲気が残る街並みも色マイメージが膨らんでうれしい。

今も街の中心に「栗田神社」。出雲神・鍛冶神 素盞鳴尊、大己貴命が御祭神。

祇園祭の主役長刀鉾の剣か小鍛冶伝承の三条宗近奉納の剣であることなども含め

この栗田口が鍛冶町だったことを今も連綿として受け継いでいると感じた街歩きでした。